

キッズウェル・バイオ (TYO: 4584)

中計をアップデート 再生医療事業 (SHED) に一層注力へ

◇2022/3期通期決算サマリー

キッズウェル・バイオの2022年3月期通期決算は、売上高 15.7億円（前期比 57.5%増）、営業損失 9.1億円（前期は 9.6億円の営業損失）、親会社に帰属する当期純損失は 5.3億円（前期は 10.0億円の同当期純損失）。期中計画は、売上高 19億円、営業損失 17.2億円、親会社に帰属する当期純損失は 13.2億円であり、売上高は未達だが損失は当初予想より縮小した。その要因は、MCBの完成に伴う売上計上が次年度に繰り越したこと、バイオシミラー (BS) 第4製品目の原薬製造プロセスに係る原薬販売が同様に繰り越したこと（開発スケジュール自体に影響はない）等。一方で、子会社JRMの譲渡により、JRM-001に係る開発費の見直しを行った結果、研究開発費が当初予想の18億円から実績は11.5億円に留まったことによる。

◇2023/3期通期予想*

2023/3期通期の収益は、売上高 29億円、営業損失 9.8億円、当期純損失 10億円を予想している。2022/3期に計画していた一部売上が、2023/3期に計上される予定で売上高は大きく伸長する見込み。一方で、同社は2021年2月公表の中期経営計画において、2023/3期に前倒して収益の黒字化を目標としていたが、以下に記す中計の見直しにより、先送りすることとなった。

◇KWB -2.0-：中期経営計画のアップデート

同社では、強みを活かしながら同社のビジョンであるKIDS WELL、ALL WELLの早期実現を目指すために中期経営計画のアップデート (KWB2.0) を公表した。同社はBSの先行企業として実績を積んできたが、バイオセラムの市場参入もありBS事業の収益性が予想より早く低下して来たと認識。一方で、近年注力して来ている再生医療事業 (SHED) は順調に開発が進んで来ている。同社では、SHEDを基盤に細胞治療・遺伝子治療製品等を創出するオンリーワン企業を目指すことが、同社のビジョンを早期に実現し、結果として企業価値の向上にも資するとの経営判断に至ったもようだ。目先の収益黒字化は先送りとなるが、一方で再生医療 (SHED) の市場のポテンシャル、同分野における同社の競争力には自信を深めている。引続き、新しい経営計画の元での、同社の今後の動向について注視していきたい。

4Q決算 impression

ヘルスケア

2022年5月12日

株価(5/12)	438円
52週高値/安値	864/327円
1日出来高(3ヶ月)	138.7千株
時価総額	137億円
企業価値	137億円
PER(23/3予)	-倍
PBR(22/3実)	6.69倍
予想配当利回り(23/3)	-%
ROE(TTM)	-23.29%
営業利益率(TTM)	-45.51%
ベータ (5年間)	1.29
発行済株式数	31.437百万株
上場市場	東証グロース

株価パフォーマンス



%	1月	3月	12月
株価	-1.8%	2.1%	3.5%
対株価	0.1%	9.5%	6.3%

注目点

北大発の創薬ベンチャー企業。バイオシミラーで先行・実績。乳歯歯髄幹細胞 (SHED) を応用した再生医療とバイオ新薬開発に注力。

当レポート(Company note)は、キッズウェル・バイオの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレマを参照ください。

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)
2018/3	1,059	-2.7	-913	-	-903	-	-904	-	-47.27
2019/3	1,021	-3.6	-805	-	-816	-	-856	-	-43.84
2020/3	1,077	-	-1,161	-	-1,187	-	-7,316	-	-264.65
2021/3	996	-7.5	-969	-	-991	-	-1,001	-	-34.79
2022/3	1,569	57.7	-919	-	-952	-	-535	-	-17.35
2023/3 (会予) *	2,900	-	-980	-	-999	-	-1,000	-	-31.82

* 2023/3期より、非連結決算に移行するため、個別業績ベースの予想



中期経営計画の修正理由 - 株価を意識した開発戦略の実行 -

バイオシミラーの上市による業績拡大だけでは株式市場の評価は得られず



- バイオシミラーの上市だけでは、株価向上および株価維持には運動しない
- バイオシミラー事業のみによる黒字化達成では、大きな企業価値および株価向上は見込めない



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。